

あやめ

2019
春季号
No.13



国営滝野すずらん丘陵公園

盡誠会 宮本病院の理念

1. 人に優しい医療を目指します

- ・患者様に
 - ・そのご家族に
 - ・この地域に
 - ・ここで働く職員に
 - ・そして未来を託す子供たちに
- 優しい医療を目指します。

2. 優しさを支える心と技術を磨くための研鑽に努めます。

目次

- ▶ 病院長 ご挨拶2
- ▶ 宮本だより3
院内 QC 発表
学会発表
- ▶ 外来診療ご案内4



新しい年度の始まりに当たって

宮本病院

院長 宮本 二郎

2019年というより、年号で話した方が話が通りやすい人がまだ多いことと思います。この号が出る頃は、新しい年号が発表されていることと思いますが、この記念すべき新年度に当たって、当院の思いを語らせてもらいます。

ライザップのコマーシャルではありませんが、結果にコミットすることは医療界でも大切なことで、治る疾患は早く治す、残念ながら治らない病気は、いかに患者さんや家族に寄り添い、苦痛や不安を和らげる努力をするかが大切なことと思います。過去教わったことを忠実に実践することも大事ですが、最新の情報をどん欲に収集して、それだけでなく学んだことをスムーズに実践していきます。ダイエットに関する本をいくら読んでも痩せないように、何事もインプット（収集）だけでなく、アウトプット（実践）することが不可欠なのです。これは職員だけでなく、自身にも常に言い聞かせていることです。

PDCA的な計画による管理は、安定的で変化の少ないビジネスではかなり有用です。しかし、「想定できない変化」が起こる環境や、疾患の場合では軍事やビジネスと同じように、計画を立てること自体が難しく、計画を立てたとして

もそれを何度となく変更しなければなりません。ならば「想定できない変化」にどう対応すればいいかを考える努力が必要で、ここにPDCAをもしかしたら超える新しい経営企画の道筋があると思われれます。そのためには、まず使命感、そして情熱です。そしてそれを支えるのが健康的な体と心だと再認識してもらえれば幸いです。

抽象的なことばかり書きましたが、最後に今年のモットーを書いておきます。それは「多剤多用」ではなく、これからは「多在多样」に心がけてもらえれば間違いがないと思います。多剤多用とは、なんでも薬に頼ることです。そして多在多样とは疾患だけでなく、人それぞれのありようがあり、生活習慣や人生経験、家族構成、もちろん性別や年齢など多種多様だということに常に念頭において、人に接することが大切ですよということです。簡単なようでやはり難しいことです。この辺は今はやりのAI(人工知能)ではなかなか解決しない分野だと思えます。

最後に、もし気になることがあったり、疑問に思うことがあったら遠慮なく相談してください。一緒に解決することはできなくても、何らかのお手伝いはできると思います。

今年度 新入職員

看護師13名、看護補助3名、調理師1名、
調理補助1名、PT2名、OT3名、臨床工学技士1名



宮本だより

院内QC発表



当院では年一回、QCサークル活動発表会を開催しています。QC（クオリティー・コントロール）活動とは、元々は製造業での品質管理手法の一つで、職場で少人数のチームを作り、医療機関においては医療サービス向上のために行われる現場主導の業務改善活動のことです。

各部署における様々な問題・課題をQC手法と呼ばれる七つ道具を用いて改善活動をしています。その中には、患者様のご意見を参考にしたQC活動もあります。QC活動導入直後は、

各所属長が研修を受け、その内容を部下に伝達していましたが、実際にQC活動を実施してみると分からない事も多々ありました。その解決策として、初めてQC活動を行う職員に理解しやすい手引書を作成し、各部署に配布しました。

当院のQCサークル活動方針は、①個人の自主性を尊重し、無限の可能性を引き出し、集団としての能力の発揮に努め、生き甲斐のある明るい職場を作る②全員参加により医療の質的向上を図るため、自己啓発、相互啓発に努める③患者様中心の医療の実践等により、社会福祉に貢献する④現業業務の実施にあたり、常に問題意識を持ち改善のために創意工夫するとなっています。上記の活動方針を掲げ、QC活動期間は11年となりました。毎年、QCサークル活動発表会で最優秀賞に輝いた部署の改善活動に関しては、「医療の改善活動」全国大会で発表しています。過去に全国大会で優秀賞に選出された演題がありましたときは嬉しい限りでした。

今後も継続してQC活動を行い、医療の質を高めていければと思います。



学会発表

2月16日 慢性期リハビリテーション学会（口述）

- ・「そんなの出来ない。やりたくない」
～患者と作業の目的を共有し意欲の向上を目指して～

作業療法士 野口 歩美

2月17日 茨城県作業療法学会（ポスター2演題）

- ・趣味活動がもたらすもの ～興味関心チェックリストを取り入れて～
- ・本人に合わせた箸の介入により食事動作に対する満足感が向上した症例
～「しっかり食べ物を掴んで食べられるようになりたい」実現に向けて～

作業療法士 鴻巣恵理香

作業療法士 増田明日香

3月5日 茨城県理学療法士学会取手・龍ヶ崎ブロック新人症例検討会（口述2演題）

- ・心原性脳梗塞発症後の誤嚥性肺炎に対する呼吸理学療法とチームアプローチ
- ・当院栄養課職員を対象とした腰痛実態調査の現状を踏まえた腰痛体操の取り組みとその効果

理学療法士 川村 美月

理学療法士 羽生 友子

3月2日・3月3日 第38回食事療法学会（示説発表にて参加）

- ・「栄養サポートチームにおけるリハビリテーション栄養の実践」

栄養課 塚本 和美

診療科一覧表

診療科		月	火	水	木	金	土
内科（院長）	午前	○		○		○	○
	午後						○
内科	午前	○	○	○	○	○	○
	午後	○	○	○	○	○	○
呼吸器内科	午前					○	
	午後					○	
消化器内科	午前	○	○ ^{*1}	○		○	○
	午後						○
循環器内科	午前			○	○ ^{*2}		
	午後						
整形外科	午前	○	○	○	○	○	○
	午後	○	○	○	○	○	
リハビリ科	午前	○	○	○	○	○	○
	午後	○	○	○	○	○	○
小児科	午前	○	○	○	○	○	
	午後	○	○	○	○	○	
精神科 (初診完全予約制)	午前		○	○	○	○	
	午後						
神経内科	午前						
	午後		○				
泌尿器科	午前						
	午後						○
腎臓内科	午前	○					○
	午後						○
人工透析	午前	○	○	○	○	○	○
	午後	○		○		○	
糖尿病代謝内科	午前	○		○		○	○
	午後	○				○	○
眼科	午前						
	午後						○ ^{*3}
皮膚科	午前						
	午後			○			
放射線科	午前						○
	午後						
内視鏡検査 (完全予約制)	午前		○				
	午後						
リウマチ科	午前					○ ^{*4}	
	午後	○				○	
認知症疾患医療 センター (初診完全予約制)	午前	○	○	○	○	○	
	午後	○	○	○	○	○	

※1 火曜日午前の診療は月1回（病院にお問い合わせ下さい）
 ※2 木曜日午前の診療は毎月第1、3、5のみ
 ※3 診療は14：30～
 ※4 木曜日午前の診療は毎月木曜（第2・4）のみ

入院許可病床数

届出区分	病棟数	病床数	看護配置
療養病棟 (地域包括ケア病棟)	1棟	32床	13対1
療養病棟 (在宅復帰機能強化加算)	3棟	111床	20対1
精神病棟 (内精神療養病棟)	5棟 (2棟)	274床 (102床)	15対1
合計	9棟	417床	

健康診断

- ・予約受付時間 9：00～16：30
- ・実施日（月曜日・水曜日） 14：00～16：00

人間ドック

- ・予約受付時間 9：00～16：30
- ・実施日（火曜日午前中） 時間は要相談

予防接種

- 小児予防接種
- ・予約受付時間 12：00～16：30（お電話下さい）
 - ・接種日：月曜日～木曜日 15：00～16：30
- 成人の予防接種も承っております。

リウマチ外来

- ・診察日（月曜日・金曜日） 14：00～17：00
- ・診察日（第2・4木曜日） 9：00～12：00

ピロリ菌外来

- ・診察日（火曜日） ※必ず電話にてお問い合わせ下さい。

禁煙外来

- ・診察日（金曜日） 予約制 ※必ず電話にてお問い合わせ下さい。

※詳細については宮本病院ホームページをご参照下さい。